

## 平成27年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月24日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 アインファーマシーズ  
 コード番号 9627 URL <http://www.aini.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年3月17日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大谷 喜一  
 (氏名) 水島 利英

TEL 011-814-1000

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年4月期第3四半期の連結業績(平成26年5月1日～平成27年1月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	136,394	8.2	7,510	0.1	7,824	0.2	4,471	4.4
26年4月期第3四半期	126,043	9.9	7,506	9.9	7,810	7.5	4,284	16.1

(注) 包括利益 27年4月期第3四半期 4,618百万円 (8.2%) 26年4月期第3四半期 4,270百万円 (10.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	141.04	—
26年4月期第3四半期	134.38	—

※当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭		
27年4月期第3四半期	110,404	41.8	46,229	41.8	1,455.50			
26年4月期	101,382	41.5	42,240	41.5	1,328.43			

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 46,150百万円 26年4月期 42,122百万円

※当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	60.00	60.00
27年4月期	—	0.00	—	—	—
27年4月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年4月期(予想)の期末の1株当たり配当金については当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

### 3. 平成27年4月期の連結業績予想(平成26年5月1日～平成27年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	11.6	10,260	1.5	10,700	1.1	5,500	4.6	173.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年4月期連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年4月期3Q	31,888,212 株	26年4月期	31,888,212 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年4月期3Q	180,572 株	26年4月期	179,832 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年4月期3Q	31,708,010 株	26年4月期3Q	31,881,404 株
----------	--------------	----------	--------------

※当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年5月1日～平成27年1月31日)におけるわが国の経済は、消費者マインドに下げ止まりの兆しが見え始め、生産、企業収益にも持ち直しの動きが見られており、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、景気は、穏やかながらも回復基調で推移しております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、調剤薬局の新規出店及びM&Aによる事業拡大をはじめ、医療モデルの総合開発、都市型ドラッグストア事業を推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高が1,363億9千4百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は75億1千万円(同0.1%増)、経常利益は78億2千4百万円(同0.2%増)となり、また、四半期純利益は44億7千1百万円(同4.4%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (医薬事業)

調剤薬局部門の既存店売上高は、堅調な来局患者数により、前年同水準の処方箋枚数を受け付けており、また、処方箋1枚当たりの売上高の上昇により、全体として微増傾向で推移しております。

平成26年4月の調剤報酬改定に対応した、薬学管理の充実及び在宅調剤の推進のための運営コスト増、また、仕入原価の上昇の影響により、調剤薬局事業の収益性は低下傾向にあります。

当社グループでは、引き続き、新規出店及びM&Aを継続し、事業規模の拡大によるスケールメリットの活用とともに、薬局単位の業務改善を進めており、当第3四半期累計期間において、前年を超える利益水準まで回復いたしました。

また、平成27年1月には、静岡県を中心として調剤薬局52店舗を展開する、株式会社メディオ薬局の完全子会社化を目的とした株式譲渡契約を締結(株式譲渡日は平成27年2月27日予定)し、東海地区におけるグループ薬局網の充実とともに、同地区における営業開発部門の一層の強化を進めてまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,225億9千2百万円(前年同期比9.4%増)、セグメント利益は96億8百万円(同0.1%増)と増収増益となりました。

同期間の出店状況は、M&Aを含め、グループ全体で合計82店舗を出店し、また、11店舗の閉店により、当社グループにおける薬局総数は687店舗となりました。

## (物販事業)

ドラッグストア事業は、同業間による同質化競争、業種間を超えた統合・再編による競合等により、厳しい市場環境が続いております。

昨年4月の消費税率引上げに伴う消費抑制は、徐々に回復基調にあり、第3四半期会計期間の既存店売上高は前期を上回る結果となりました。

当社では、このような環境において、都市型ドラッグストア「アインズ&トルペ」を都市部の特に集客力の高いエリアへの出店を継続するとともに、商圏・立地に対応したMDの強化、LINE等のコミュニケーションアプリの販促活用等、既存店舗の活性化に向けた取り組みを進めております。

また、札幌市大通地区のSTV中央ビル(札幌市中央区:地上8階 地下2階)を一括賃借し、アインズ&トルペを中心とした美容と健康に特化した複合商業施設として、本年秋の開業に向け準備を進めております。

また、昨年10月の外国人旅行者向けの消費税免税対象商品の拡大に対応し、当第3四半期末までに全55店舗中、28店舗が免税サービス許可店舗として営業を開始し、全店舗の売上高において、前年度を上回る水準となっております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、131億2百万円(前年同期比2.0%減)、セグメント利益は9千2百万円(同660.4%増)となりました。

同期間は、1店舗の出店、郊外型店舗を中心とした5店舗を閉店し、ドラッグストア店舗総数は55店舗となりました。

## (その他の事業)

その他の事業における売上高は6億9千9百万円、セグメント損失は3億4千万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より90億2千1百万円増の1,104億4百万円となりました。

主な要因は、新規出店及びM&Aによる事業規模の拡大に伴う、たな卸資産、土地・建物等の有形固定資産及びのれんの増加のほか、M&A充当資金とする現金及び預金の増加、また、未収入金の減少が含まれております。

負債の残高は、50億3千2百万円増の641億7千5百万円となりました。

主な要因は、買掛金、預り金、長期借入金が増加し、未払法人税等及び退職給付に係る負債の残高が減少したことによるものであります。

また、短期及び長期借入金の残高は、37億8千6百万円増加となる148億2千4百万円となりました。

純資産の残高は、39億8千8百万円増の462億2千9百万円となり、自己資本比率は0.3ポイント改善となる41.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の新店及び既存店の業績動向ならびに今後の出店計画を勘案した結果、現時点においては、平成26年5月27日発表の通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法についても、割引率の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が8,366千円増加、退職給付に係る負債が592,370千円減少、利益剰余金が386,510千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,846,760	23,032,479
受取手形及び売掛金	6,718,670	7,488,709
商品	9,578,858	10,437,394
貯蔵品	180,570	177,111
繰延税金資産	1,245,406	954,602
短期貸付金	708,297	729,548
未収入金	5,679,761	4,650,030
その他	1,376,190	1,435,861
流動資産合計	44,334,515	48,905,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,962,423	10,756,822
土地	6,698,782	7,476,849
その他(純額)	2,922,726	3,143,031
有形固定資産合計	19,583,933	21,376,703
無形固定資産		
のれん	20,017,440	22,546,447
その他	1,111,957	1,241,568
無形固定資産合計	21,129,397	23,788,016
投資その他の資産		
投資有価証券	2,559,386	2,389,108
繰延税金資産	1,068,129	767,509
敷金及び保証金	8,081,230	8,683,029
その他	4,866,487	4,734,360
貸倒引当金	△240,307	△240,307
投資その他の資産合計	16,334,926	16,333,700
固定資産合計	57,048,257	61,498,420
資産合計	101,382,772	110,404,158

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	28,002,426	31,309,783
短期借入金	6,535,438	6,412,007
未払法人税等	3,079,805	604,328
預り金	8,686,700	9,656,946
賞与引当金	1,149,395	543,925
役員賞与引当金	11,934	4,774
ポイント引当金	332,315	332,315
その他	2,551,384	3,015,417
流動負債合計	50,349,400	51,879,498
固定負債		
長期借入金	4,502,810	8,412,324
退職給付に係る負債	1,927,033	1,488,017
その他	2,363,437	2,395,302
固定負債合計	8,793,281	12,295,644
負債合計	59,142,681	64,175,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,682,976	8,682,976
資本剰余金	7,872,970	7,872,970
利益剰余金	26,007,464	29,914,679
自己株式	△417,338	△419,202
株主資本合計	42,146,073	46,051,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,590	136,683
退職給付に係る調整累計額	△58,224	△37,516
その他の包括利益累計額合計	△23,633	99,167
少数株主持分	117,651	78,423
純資産合計	42,240,091	46,229,015
負債純資産合計	101,382,772	110,404,158

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年5月1日 至平成27年1月31日)
売上高	126,043,003	136,394,428
売上原価	106,926,020	116,156,197
売上総利益	19,116,982	20,238,230
販売費及び一般管理費	11,610,719	12,727,547
営業利益	7,506,262	7,510,683
営業外収益		
受取利息	56,449	54,395
受取配当金	28,152	30,677
受取手数料	13,351	35,504
不動産賃貸料	62,246	122,014
業務受託料	111,803	116,048
その他	287,148	197,374
営業外収益合計	559,152	556,014
営業外費用		
支払利息	73,223	62,826
債権売却損	64,178	61,685
不動産賃貸費用	34,311	66,129
その他	83,601	51,551
営業外費用合計	255,315	242,193
経常利益	7,810,098	7,824,503
特別利益		
投資有価証券売却益	49,667	7,040
固定資産売却益	4,096	2,298
受取保険金	193,941	-
その他	9,523	-
特別利益合計	257,229	9,338
特別損失		
固定資産除売却損	111,515	128,151
役員退職慰労金	-	106,960
その他	56,738	85,890
特別損失合計	168,254	321,002
税金等調整前四半期純利益	7,899,073	7,512,839
法人税等	3,617,788	3,016,963
少数株主損益調整前四半期純利益	4,281,284	4,495,876
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3,053	23,920
四半期純利益	4,284,338	4,471,955



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成26年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,281,284	4,495,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,004	102,093
退職給付に係る調整額	-	20,707
その他の包括利益合計	△11,004	122,801
四半期包括利益	4,270,280	4,618,677
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,273,333	4,594,756
少数株主に係る四半期包括利益	△3,053	23,920

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成26年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	112,101,198	13,372,693	569,111	126,043,003	-	126,043,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	154,028	154,028	△154,028	-
計	112,101,198	13,372,693	723,139	126,197,031	△154,028	126,043,003
セグメント利益又は損失(△)	9,601,761	12,205	△331,878	9,282,087	△1,471,988	7,810,098

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,471,988千円には、全社費用が1,392,808千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が131,021千円、セグメント間取引消去が△51,840千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社9社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては1,510,250千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬事業	物販事業	その他の事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	122,592,022	13,102,848	699,557	136,394,428	-	136,394,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	241,792	241,792	△241,792	-
計	122,592,022	13,102,848	941,350	136,636,221	△241,792	136,394,428
セグメント利益又は損失(△)	9,608,081	92,812	△340,201	9,360,691	△1,536,187	7,824,503

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,536,187千円には、全社費用が1,510,308千円、報告セグメントに配賦不能の損益(△は益)が94,473千円、セグメント間取引消去が△68,594千円含まれております。

なお、全社費用は、主に親会社の総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬事業」セグメントにおいて、調剤薬局事業会社9社を買収しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては3,914,715千円であります。